

2024年3月期第2四半期決算説明資料



株式会社マツオカコーポレーション(証券コード 3611)

2023年11月29日



目次

1

会社概要

P2

2

2024年3月期第2四半期決算概要

P4

3

2024年3月期業績予想・中期経営計画

P12

1

会社概要



ベトナム フード工場

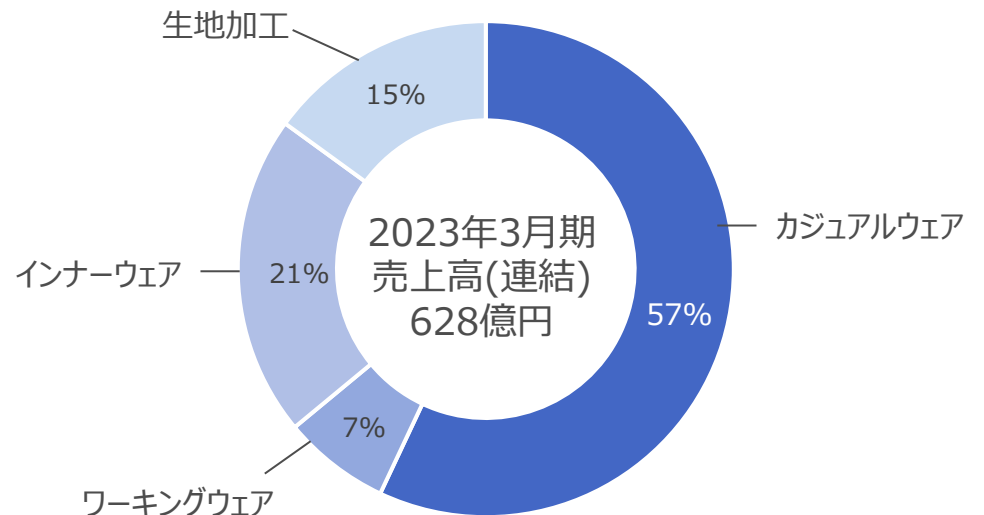
会社概要

- 当社は他社ブランド衣料品の縫製加工を行うアパレルOEMメーカー

会社概要

会社名称	株式会社マツオカコーポレーション
代表者	代表取締役社長CEO兼COO 松岡 典之
本社	広島県福山市
設立年	1956年
従業員数	連結 17,303人 (2023年9月末現在)
生産拠点	中国、ミャンマー、バングラデシュ、ベトナム、インドネシア
上場市場	東証スタンダード市場 (証券コード 3611)

売上構成比



カジュアルウェア ワーキングウェア	原材料を調達し、縫製を行っています
----------------------	-------------------

インナーウェア	生地生産、縫製を一貫して行っています
---------	--------------------

生地加工	原材料の開発、表生地の特種加工、素材の開発を行っています
------	------------------------------

2

2024年3月期第2四半期決算概要



ベトナム アンナム工場

連結損益計算書 (2024年3月期2Q) (対前年増減率)

	23/3期2Q 実績	24/3期2Q 実績	対前年 増減率	＜ポイント＞
売上高	289億円	293億円	1.4%	顧客が商品の生産地を見直す動きがある中で、当社グループの持つ生産拠点網が受け皿となったこともあり、受注が堅調に推移
経常利益	10億円	25億円	149.5%	中国からASEAN諸国等への生産地シフトの進捗、海外工場における生産性の向上、人員の適正配置により利益率が向上し増益。
経常利益率	3.5%	8.6%	5.1pt	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1.5億円	12億円	720.0%	経常利益の増加により増益。
ドル	AR 123円 CR 145円	AR 135円 CR 150円		
元	AR 19.0円 CR 20.4円	AR 19.5円 CR 20.0円		

連結損益計算書 (2024年3月期2Q) (進捗率)

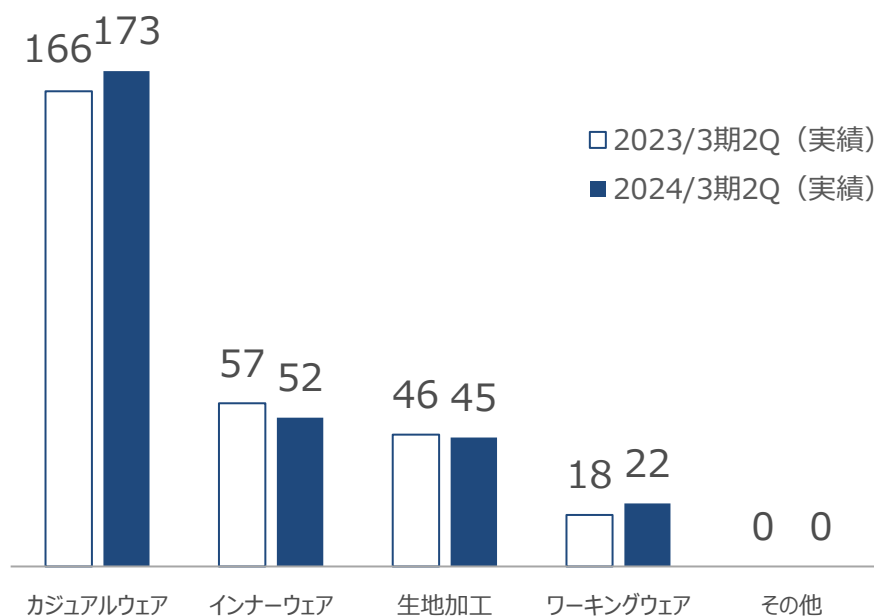
	24/3期 予想	24/3期2Q 実績	24/3期 進捗率	＜ポイント＞
売上高	580億円	293億円	50.7%	上期は当社グループの持つ生産拠点網が受け皿となり販売が底堅く推移。下期売上の基礎となる受注は、暖冬の影響もあり懸念。
経常利益	33億円	25億円	77.0%	中国からASEAN諸国等への生産地シフトの進捗、海外工場における生産性の向上、人員の適正配置により利益率が向上し増益。
経常利益率	5.7%	8.6%	—	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	20億円	12億円	64.2%	経常利益の増加により増益。
ドル	AR 123円 CR 145円	AR 135円 CR 150円		
元	AR 19.0円 CR 20.4円	AR 19.5円 CR 20.0円		

売上高（品目別・生産地域別）

- 品目別では、主力のカジュアルウェア及びワーキングウェアで増収
- 生産地域別では、ASEAN諸国等へのシフトが加速し、特にベトナムの売上が伸長

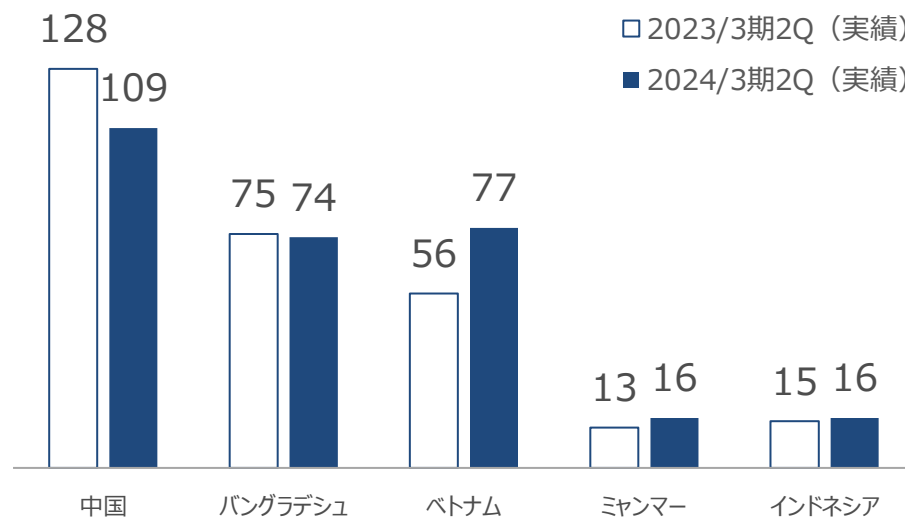
品目別売上高（対前期比）

（億円）



生産地域別売上高（対前期比）

（億円）



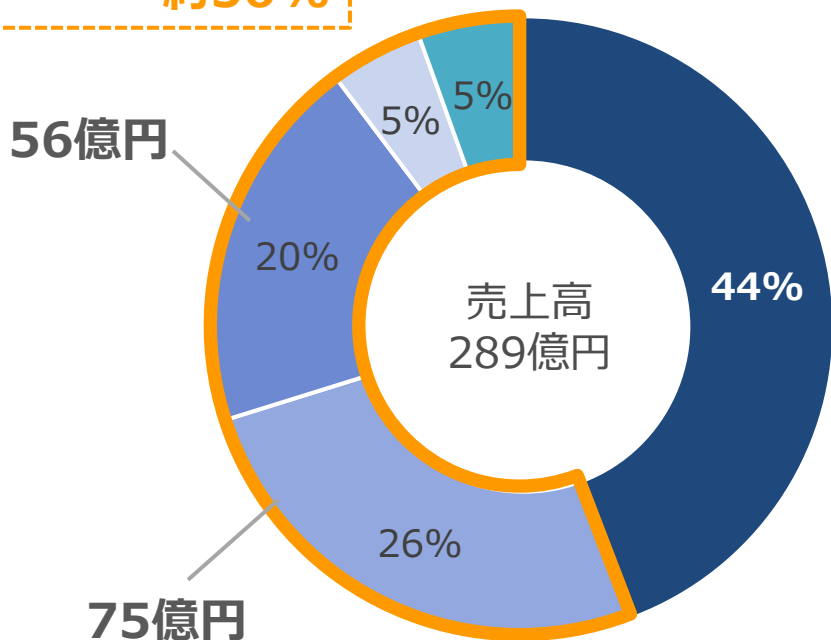
売上高（生産地域別比率）

ASEAN諸国等での生産力強化により

ASEAN諸国等での生産比率 7pt増加

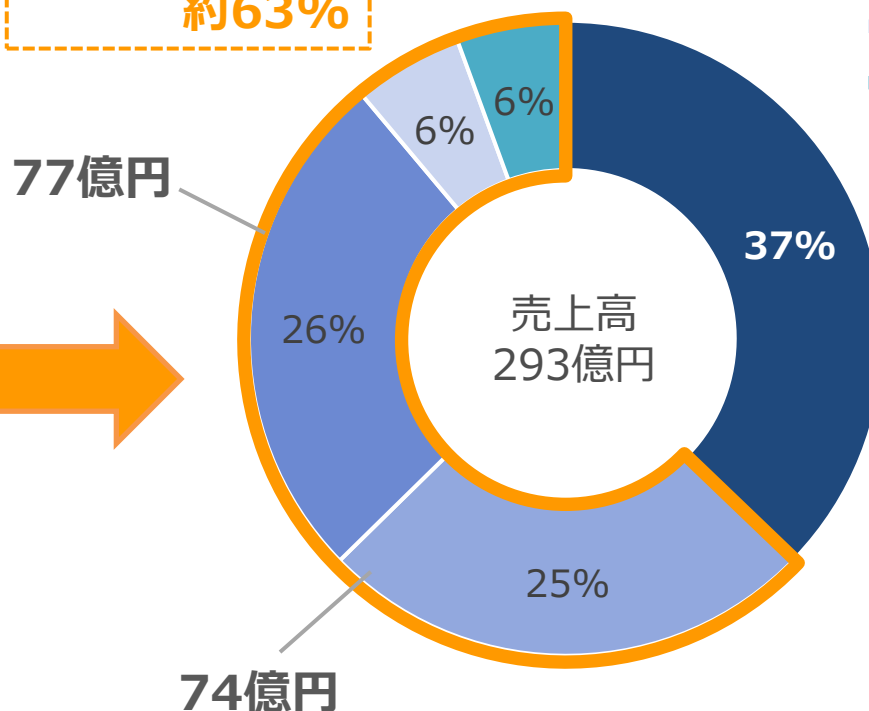
2023/3期2Q（実績）

ASEAN諸国等
約56%



2024/3期2Q（実績）

ASEAN諸国等
約63%



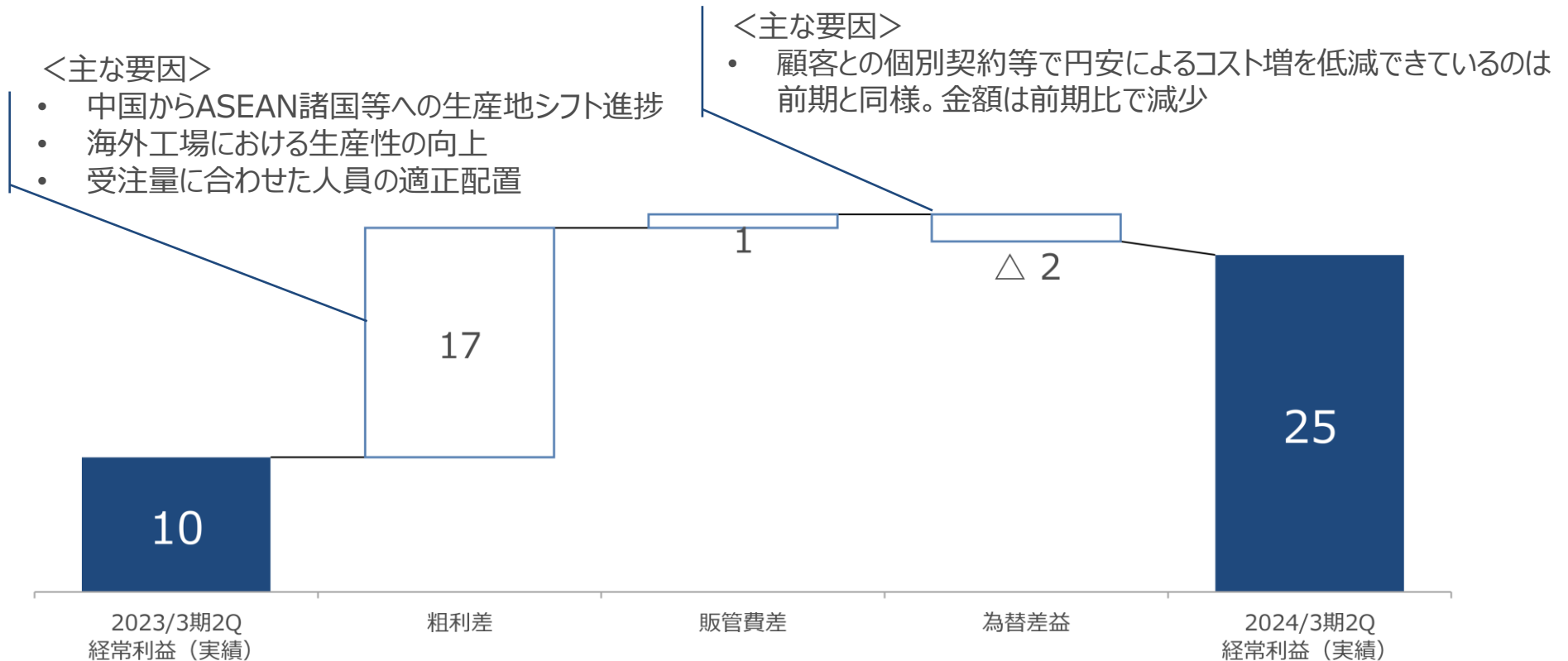
- 中国
- バングラデシュ
- ベトナム
- ミャンマー
- インドネシア

経常利益の変動要因（対前年同期比）

- 中国からASEAN諸国等への生産地シフト進捗、海外工場における生産性の向上、受注量に合わせた人員の適正配置により利益率が大幅に向上

経常利益の変動要因

（億円）

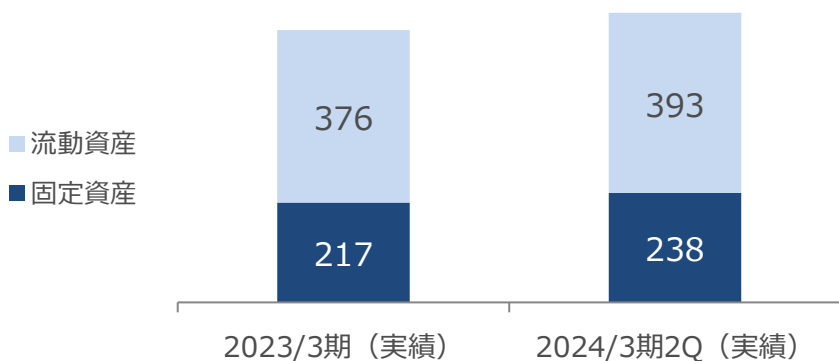


連結貸借対照表（前期末比）

- 為替の影響から現預金及び売上債権が増加。新設工場の前期一部未了分に投資を行い、固定資産が増加。流動比率と当座比率が上昇。

資産

(億円)



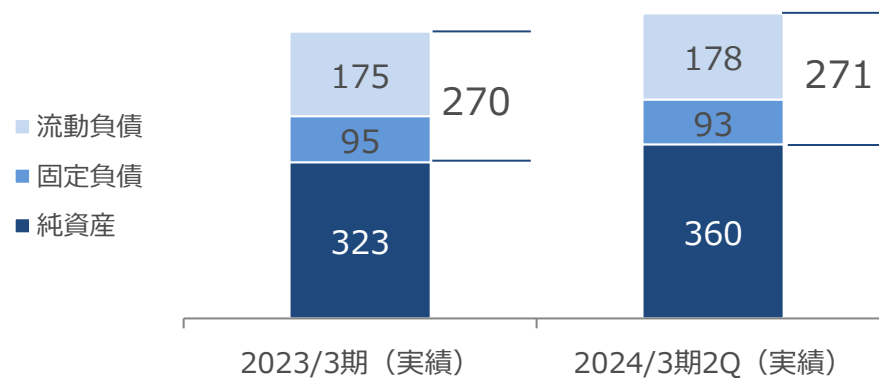
流動比率	214.3%	220.4%
当座比率	139.2%	166.7%

<主な増減要因>

- 流動資産：棚卸資産が減少し、売上債権及び現預金が増加
- 固定資産：ベトナムおよびバングラデシュでの一部工場投資により増加

負債純資産

(億円)



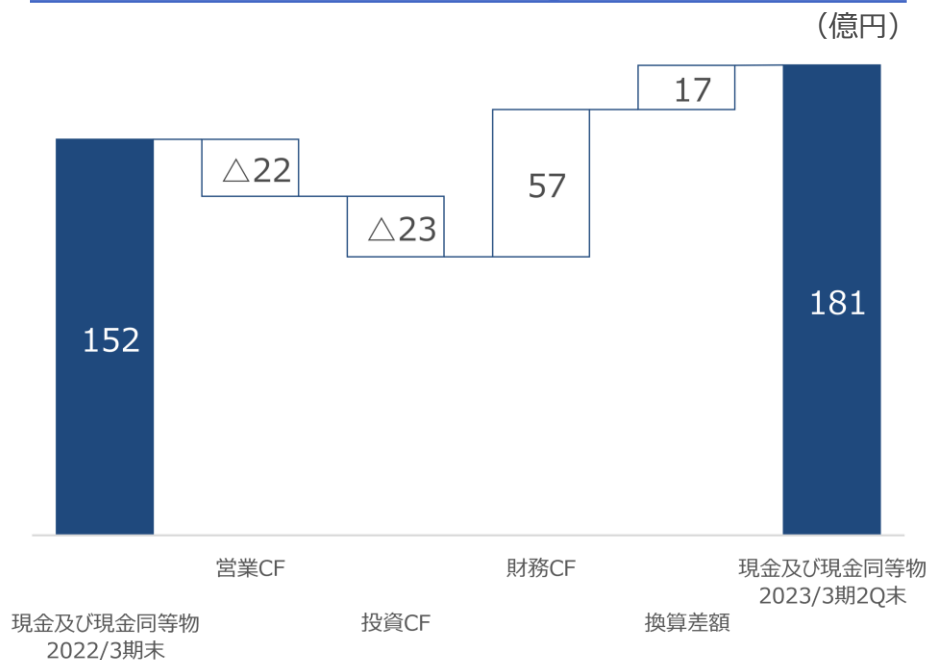
有利子負債	148億円	148億円
D/Eレシオ	0.59倍	0.58倍

<主な増減要因>

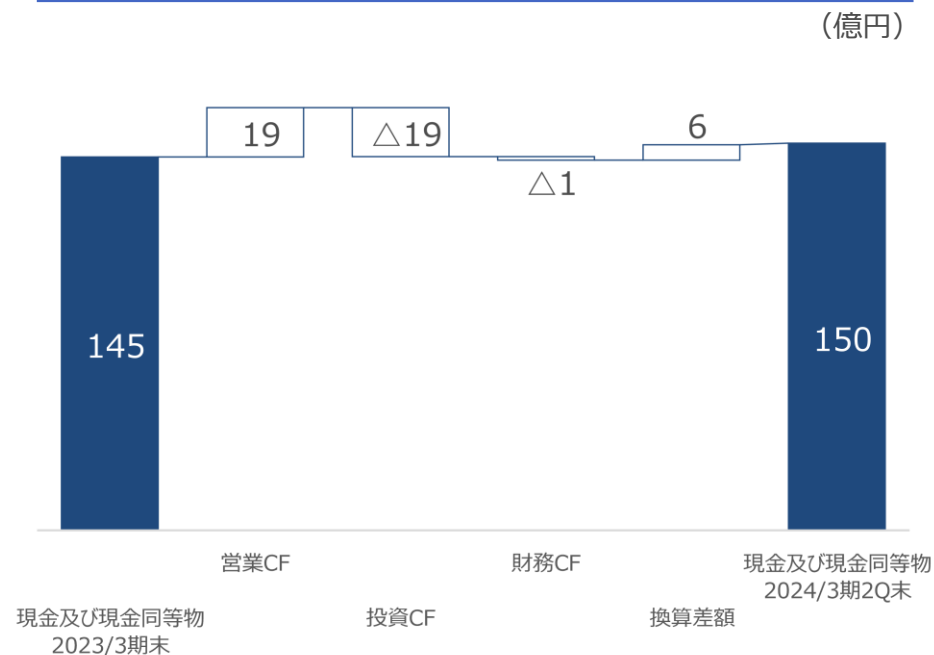
- 負債：運転資金増加により短期借入金が増加、一方で長期借入金の減少により、負債はほぼ前年並み
- 純資産：当期純利益の獲得により株主資本が、円安進行により為替換算調整勘定が、それぞれ増加

連結キャッシュ・フロー計算書

2023/3期2Q末CF



2024/3期2Q末CF



《キャッシュ・フロー前期末比較》

- 営業CFは、税金等調整前当期純利益の計上(26億円)、棚卸資産の減少(10億円)、減価償却費の計上(9億円)があった一方で、売上債権の増加(9億円)、法人税等の支払額(9億)等により、19億円の収入
- 投資CFは、固定資産取得支出(12億円)等により、19億円の支出
- 財務CFは、借入金純増(3億円)および配当金の支払い額(4億円)等により、1億円の支出

3

2024年3月期業績予想・中期経営計画



ベトナム タンチュオン工場

2024年3月期 通期連結業績予想の修正

- コロナ禍を経て、流通在庫がまだ完全に解消されておらず、下期に向けて懸念はあるものの、コスト削減による利益率向上の効果により、通期計画を上方修正。

損益計画

	修正前 (2023年5月11日)	修正後 (2023年11月9日)	【期初計画差】	
売上高	580億円	580億円	±0	—
営業利益	10億円	11億円	+1億円	110.0%
経常利益	15億円	33億円	+18億円	220.0%
経常利益率	2.6%	5.7%	+3.1pt	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	8億円	20億円	+12億円	250.0%
ドル	AR 129円			
元	AR 19.3円			

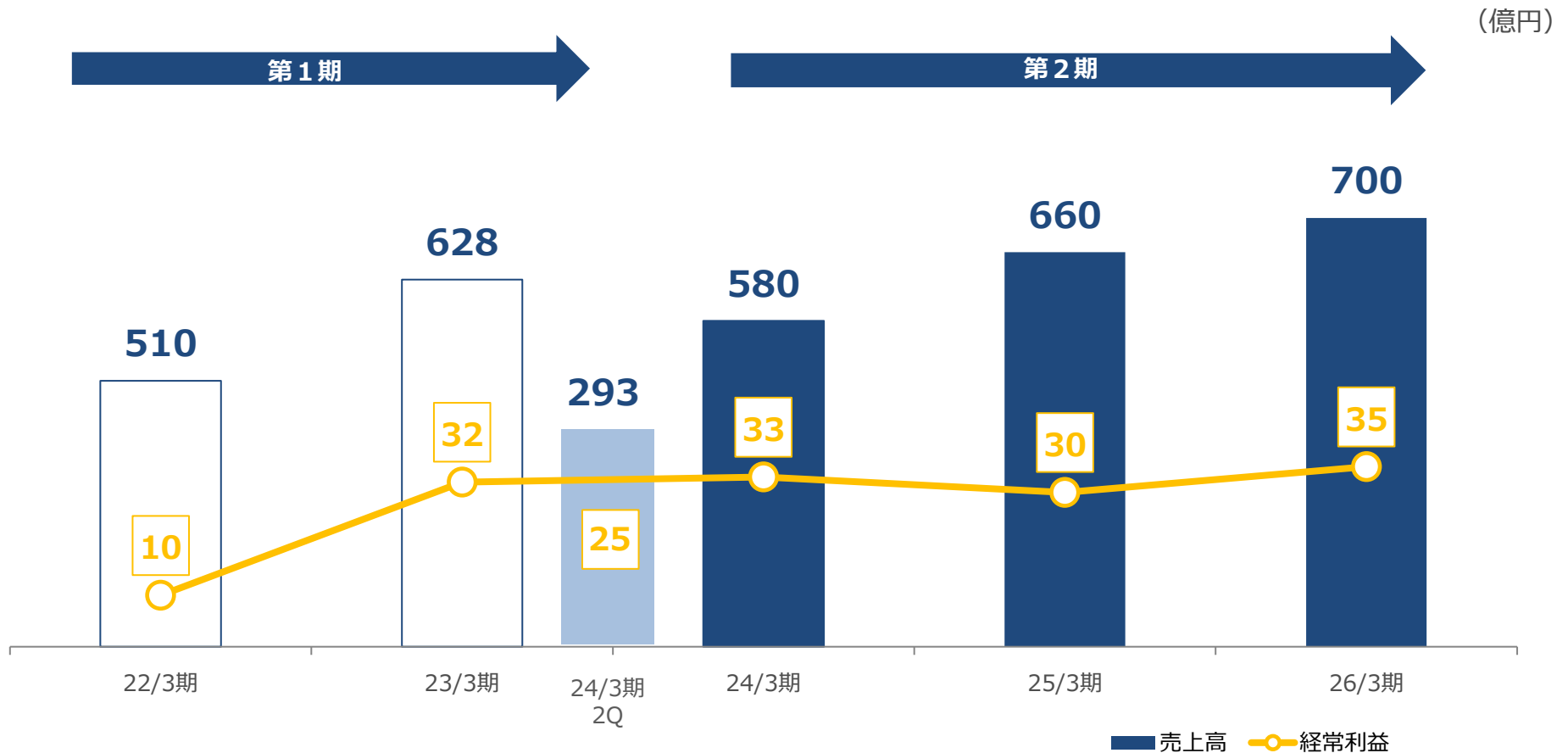
期初計画との主な差異要因

	業績予想値(億円) 5/11公表値→今回見直し ()内差異	差異要因
売上高	580→580 (±0)	期初予想からの変更無し
営業利益	10→11 (+1)	円安進行による工場コストの増加があった一方で、中国からASEAN諸国等への生産地シフト進捗、人員の適正化、生産コスト削減等、期初想定していた取組の実施効果により増益。
経常利益	15→33 (+18)	円安進行による為替差益の発生により大幅増益。
親会社株主に帰属 する当期純利益	8→20 (+12)	経常利益増加により法人税等の税金費用が増加するものの増益。

中期経営計画「ビジョン2025」

- 中期経営計画第2期での新たな成長に向けて、工場建設と生産能力の拡大を進行中。

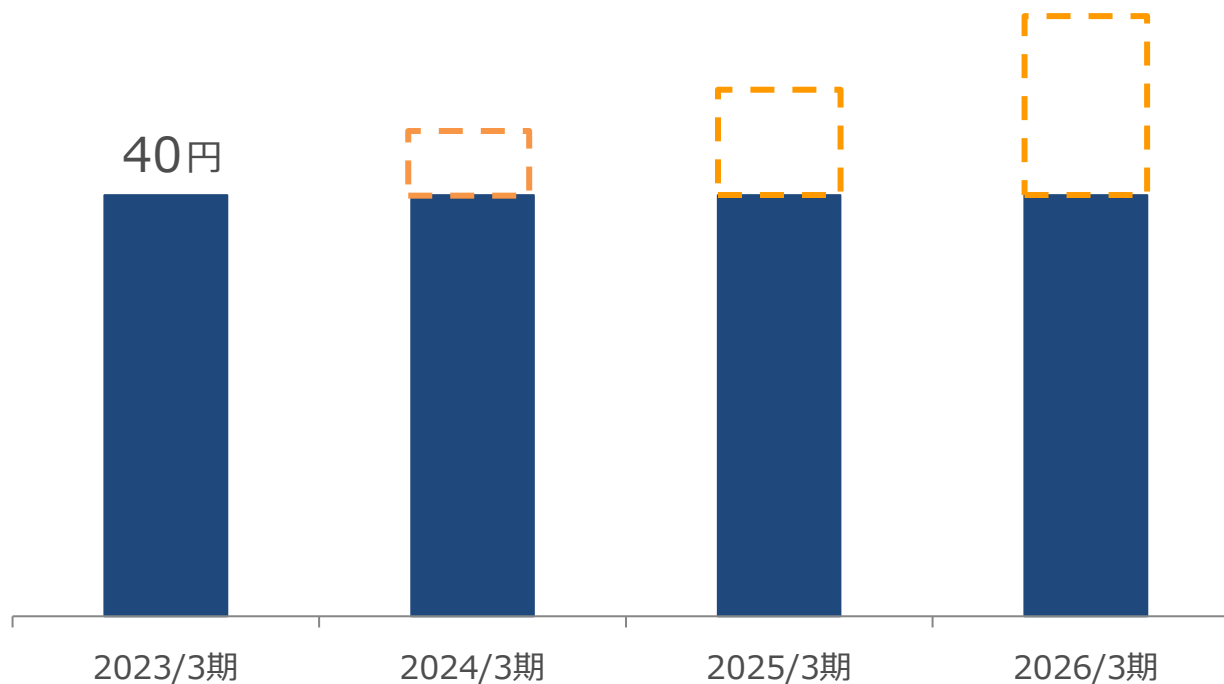
売上高/経常利益の推移



配当方針

- 安定的な配当の継続を基本とし、業績に対応した配当を行う
- 利益成長にあわせて増配を検討

一株当たり配当金



中期経営計画の
達成状況により、
増配を検討

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マツオカコーポレーション
広報IR室
(E-mail. info_ir@matuoka.co.jp)
(URL. <https://www.matuoka.co.jp/>)